



令和7年1月発行

発行：香川医療生活協同組合  
高松協同病院

発行者：院長 北原孝夫

編集：高松協同病院 広報委員会

H P：http://t-kyodo.com/



## 新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。昨年は久々に開催できた病院の健康祭りをはじめ、コロナ禍で途切れていた地域の中でみんなで集う楽しい様々な活動が、少しずつですが戻ってきた1年でした。回復期リハビリテーション病棟でも運動会や歌のイベントなど、リハビリテーションを推進していく上でも重要なイベントも再開しています。また高松協同病院はWHOが推進する健康増進拠点病院（HPH）として地域の皆様に医療・介護を提供し地域全体の健康に寄与できるよう日々奮闘中ですが、広島で開催されたそのHPHの国際カンファレンスに演題発表を持って初めて参加することができました。地域の中での住民の健康づくりやまちづくりなどで、あらためて医療機関や介護施設が果たす役割の大きさを実感しているところです。今年は様々な医療機関・介護施設やサービスの皆様と、対面でお互いの顔が見える関係を再構築していく1年にしていく決意をして、年頭のあいさつとさせていただきます。



院長 北原 孝夫

新年あけましておめでとうございます。昨年は久しぶりに高松協同病院でお祭りが実施でき、地域とのつながりが再確認できました。12月には病院機能評価を受審しており、第三者機関での当院の評価が行われております（たぶん無事に審査が終わったと思っています）。リハビリテーション病院は経営的にどこも厳しい状態が続いていますが、患者さんをしっかりよくして地域へ帰るといふ当院の基本姿勢を引き続き継続し、リハビリテーションの質で選ばれる病院づくりを今後も続けたいと考えております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



副院長 植木 昭彦

### » 二川次長のご紹介

2025年1月1日付けで高松協同病院の管理室に異動してきました。これまでは高松平和病院の医事課で10年、事務長室で8年勤務しておりました。

高松協同病院の務めは、やはり回復期の役割を担い、患者様の在宅復帰を支援する事だと思っています。

まだまだ知識不足の所もありますが、自分のモットーである「笑顔」を大事にして頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 》「歩行」というテーマで研修会を行いました

畿央大学大学院 教授の森岡周先生

テーマ：歩行

日時：2024年11月30日（土）

### 森岡周先生の略歴

畿央大学大学院健康科学研究科主任・教授  
同 ニューロリハビリテーション研究センター長  
東京都立大学人間健康科学研究科客員教授  
リハテックリンクス株式会社顧問

当院で畿央大学大学院 教授の森岡周先生をお招きして「歩行」というテーマで研修会を行いました。「講演1」では、ヒトの歩行の神経メカニズムについて、詳しく学びました。

「講演2」では、人間の行動・心理を哲学的に捉えた内容で、高度なお話でしたが大変感動しました。自分の医療観や倫理観が洗われたような心地よい新鮮な感覚でした。研修会はZOOMで配信し、全国から約300人の医療従事者の方々に参加していただきました。講演では森岡先生も初めてお話された内容だったそうでとても貴重な研修会となりました。



## 》さめき市認知症カフェにリハビリ専門職と管理栄養士が参加

さめき市の地域包括支援活動の一つに地域の方々の集いの場所として認知症カフェがあります。

また、いつまでも元気に地域で生活できるようにと、運動指導も行われています。高松協同病院では、そんな地域の活動に講師としてリハビリ専門職と管理栄養士の派遣を行っております。リハビリ専門職は運動には興味があっても、始めるきっかけが無い方や、継続が苦手な方も日常生活の中に取り入れやすい簡単な運動や、ストレッチなどの指導を中心に取り組んでおります。

管理栄養士は、フレイル予防の栄養と食事についての講話や、たんぱく質が手軽に摂れる簡単調理レシピの紹介と調理実習をしています。バランスのとれた栄養摂取について身近に感じていただけるように献立演習もしています。いつまでも元気に住み慣れた街で過ごしていただきたいと思っております。



## 熊本学術大会

10月に第16回全日本民医連看護介護活動研究交流集会に参加・演題発表をしました。

この集会は、全国の民主医療連合会に加盟している病院・診療所、介護施設等の事業所で働く看護・介護職員が集まり、日頃の看護介護実践を発表する場です。コロナ禍で6年ぶりに対面での開催となりましたが、香川から5演題発表（当院からは2演題）を行いました。

開催地が熊本であり水俣病の患者に関わっている医師の記念講演、認知症、ケアの倫理を考えるセミナーや能登・北海道胆振東部の地震時支援を通して災害支援活動を共有するセミナーなど多彩な学習企画があり、人権やケアをあらためて考える機会となりました。



## 訪問栄養指導

2023年10月から訪問栄養指導を始めました。香川県内では実施施設が少なく、全国的にも遅れています。訪問栄養指導を開始した理由は2つあります。1つ目は、回復期リハビリテーション病棟からの在宅復帰率は90%を超えており、退院後は元の食生活に戻るケースが多いことから、継続した栄養支援を行う必要があることです。2つ目は、地域NSTで検討する在宅患者の栄養支援の必要性が高いことと外部のケアマネジャー等から訪問栄養指導の実施依頼が増えていることです。

生活の中で食事は栄養を摂る目的の他、満足感や幸福感も得られる大切な部分です。

高松協同病院の目的理念である「あなたの笑顔が、私たちの喜びです」を大切に、食を通して笑顔になれるよう今後も訪問栄養指導を続けていきたいと思っています。

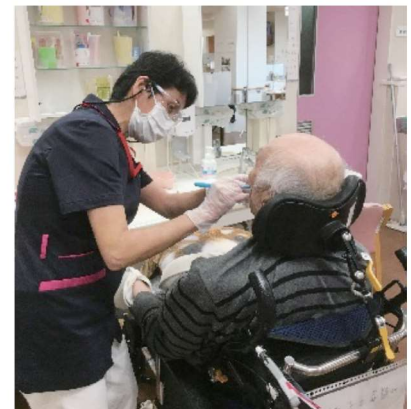


## 病棟配属 歯科衛生士の活動

「しっかり食べて、栄養をとり、リハビリ効果をあげよう」をモットーに私たち歯科衛生士は入院患者様のケアを多職種と共に連携し行い、退院を目指しています。入院時の口腔内評価で、問題のある方は訪問診療へ繋ぎ、義歯作製からう蝕処置、歯周病治療を行っています。

日々の活動で最も重視している事は口腔ケアです。口腔内の清潔を保つことが「美味しく食べること」に繋がります。入院時に治療を行い、咬合が回復したことでリハビリに必要な栄養が摂取でき、しっかりリハビリが行えるようになり、患者様も喜ばれています。

退院後も継続して正しい口腔ケアを行い、習慣づけてもらえるよう活動していきます。



## 》 第18回健康まつり

10月に地域の組合員さんとともに行う最大の定例イベント「第18回健康まつり」を開催し、700人の方々にご来場いただきました。健康をテーマに院内ブースでは「食とお口の健康」「健康チェック」「福祉用具展」院外ブースでは、和太鼓集団「満天」、フィットネスラボ高松「キッズダンス」、「新舞踊」、「フラダンス」、舞台では「バンド演奏」等催しで、ご来場の皆様も楽しんでいただきました。しばらくぶりの開催なので、開催に先立ちの十分な要領を得ず苦労もありましたが、笑顔溢れるイベントになりました。



## 》 「大須賀ひでき」さんコンサート

11月に高松協同病棟で元デュークエイセス「大須賀ひでき」さんのコンサートが開催されました。「花いちりんコンサート：全国ツアー」の途中、香川県内で行われるコンサートの合間にボランティアで当院に来ていただきました。3回目の開催となります。

入院患者様70名・職員多数で会場は埋め尽くされ、「翼をください」「女ひとり」「いい湯だな」など、さすがの美声で歌っていただきました。患者様は大きく手拍子されたり、何とか動く指先だけでリズムを取る方もいて、入院生活中のサプライズを楽しまれていました。大満足され、記憶に残るコンサートとなりました。大須賀ひできさんには今回の機会を作ってください感謝いたします。



## 》 連携相談部の紹介

私たちは、6名の社会福祉士と2名の看護師で日々利用者の皆様からの医療・福祉相談や受診の手配、生活に必要な各種サービスや制度の利用調整、入院相談、医療サービス利用相談等幅広く応じています。なかには複雑な相談内容もあり、一筋縄ではいかないものも多いですが、周りの方々の協力も得ながら取り組んでいます。上手く状況改善にこぎつけ「ホッ」と安心していただける笑顔を思い描きながら頑張っています。



Instagram始めました

病院の日々をあげています。  
フォローよろしくお願いいたします。



@TAKAMATSU\_KYODOU\_HOSPITAL

